

シリンダーの種類

LBシリンダー（賃貸住宅用）（可変タンブラーシリンダー・リバーシブルキータイプ）

シリンダーの種類

■特長

■賃貸住戸の管理方式に合わせたチェンジキーシステム（リベロ・キーシステム）をご提供します。

賃貸住戸の管理方式に合わせたキーの管理方法を最優先に考えました。シリンダー交換が不要で、管理コストの低減化を図れます。リベロ・キーシステムの運用方式は、フリーセレクトタイプとペアタイプの2種類。詳細はP87を参照ください。

■高防犯・高機能を実現

独自の可変機構（PAT）を採用した可変タンブラーを13列13枚配列させ、不正解錠に非常に強いロックングバーを上下に2本設定した、高防犯・高機能を実現させたシリンダーです。メインタンブラーは4段変化、サイドタンブラーは2段変化となり、理論鍵違い数は約261億通りにもなります。

■優れた防犯性

すべてのタンブラーが同時に揃わないと回転しないロックングバー方式（上下2ヶ所）を採用。また、溝付きのアンチピッキングタンブラーを採用しているため、正規切欠位置との判別が非常に困難で、高い耐ピッキング性能を実現しています。

■ドリル、ホールソー攻撃にも対処

シリンダー内に複数の高硬度部品を使用しているため、ドリル、ホールソー攻撃にも高い抵抗力があります。



LBシリンダー



キーウェイ形状



LBキー形状

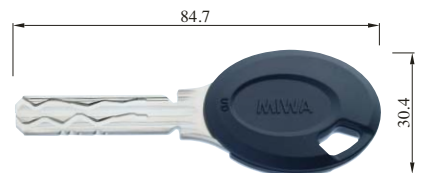
LB-Jシリンダー（スリバチ部品付）



キーウェイ形状
（スリバチ蓄光仕上）



LBキー形状



LBキー形状

（バリアフリー錠とBL-bs認定品の場合はこのキー形状になります。）

■原理

図-1
キー抜取時

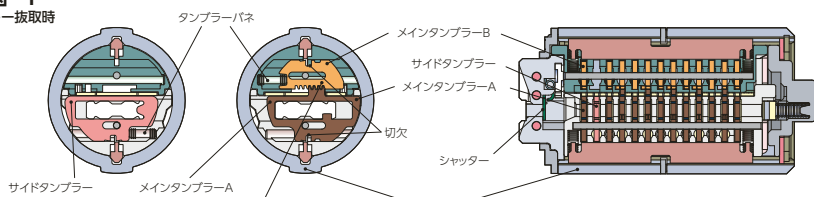
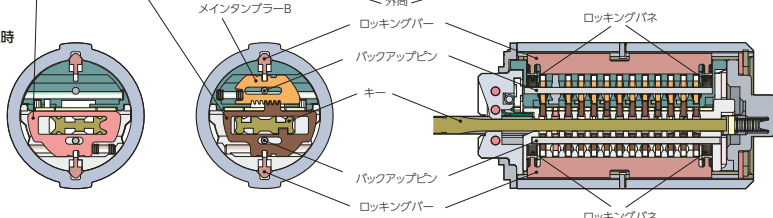


図-2
キー挿入時



- ① キーを抜き取った状態では、図-1に示すように上下にあるロックングバーがロックングパネによって外筒の溝に押しつけられています。また、タンブラーは、タンブラーパネによって押されています。この状態で内筒を回転させようとしても、（タンブラーの切欠がロックングバー上方または下方にないため）タンブラーに阻まれて、ロックングバーは内筒側に入ることができず、内筒を回転させることができません。
- ② 合力を差し込むと、タンブラーはキーの刻みによって左右に移動し、切欠がロックングバーの上方または下方にくるように整列します。この状態で内筒を回転させようすると、溝とロックングバーとのテーパーによってロックングパネに抗してロックングバーが整列したタンブラーの切欠側に収納され、内筒を回転させることができます。

■特長

■ダブルインライン×ディンプルの高精度キー

インラインとディンプルの位置が複雑で、加工に高い精度が要求されます。さらにキーの断面形状は当社独自の仕様(PAT)のため当社以外ではキーの複製ができず、高いセキュリティを保持できます。



■物件管理者以外のキーの複製や、予備キー手配をシステムで防止(標準設定)

セキュリティを向上させる新システム〈セキュリティ認証IDシステム〉を標準設定しました。セキュリティカードに同梱されるセキュリティカード登録書を返送していただくことにより、セキュリティ認証ID番号が登録されます。このID番号がないとスペアキーや予備キーの製作ができないシステムのため、セキュリティを高い水準で保持できます。

(注1) 竣工・引き渡し前に予備キーを手配する場合は、玄関錠前を手配する際に同時にご指示願います。同時にご指示いただけなかった場合、セキュリティ上手配できない場合がございますのでご注意ください。

(注2) シリンダーをご発注の際は、キー本数の誤りがないようご注意ください。

【セキュリティカードセット枚数】

フリーセレクトタイプの場合：全住戸対応用ニュートラルキー1種毎に1枚
ペアタイプの場合：物件に対して1枚

注1) ペアタイプの場合はニュートラルキー番号の印字はありません。

注2) セキュリティカードは物件管理者に別途渡されます。製品には同梱されませんのでご注意ください。



セキュリティカード

■チェンジキーシステムを標準設定

入居者が変わった場合や、キーを紛失した場合でも、シリンダー交換をせずに以前のキーを無効にし、新しいキーでの施解錠が可能となるチェンジキーシステムを備えた可変シリンダーです。

物件ごとの鍵違い数は総戸数の6倍まで可能です。

入居者が変わった

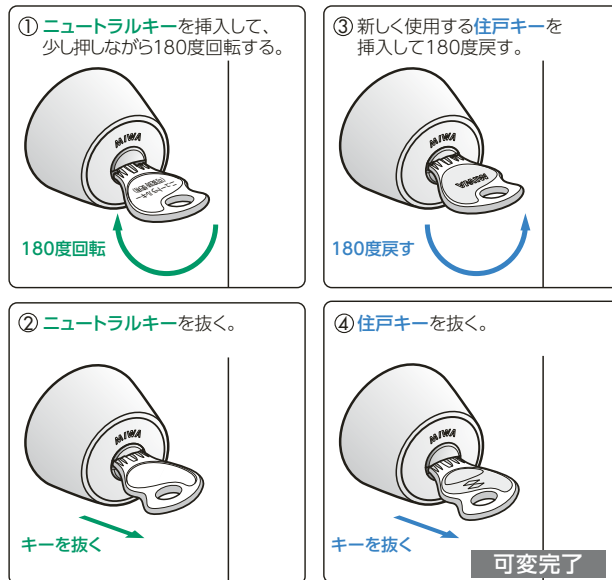
使用中のキーを紛失した

- ・キーを拾われて悪用される不安
- ・錠前交換による出費
- ・錠前交換までに時間がかかる

リペロ・キーシステムならシリンダーはそのまま、それらの不安をすぐに解消いたします。

リペロ・キーシステムは、シリンダー交換せずに、以前のキーを無効にして新しいキーでの施解錠が可能です。

■住戸キー可変操作方法



■マスターキーもキーチェンジが可能です。(マスターキー付きのみオプション対応)

マスターキー紛失時や賃貸物件の管理会社移行などの場合は簡単操作でマスターキーを1回のみ可変させることが可能です。(マスターキーチェンジと同時にニュートラルキーも交換が必要です。)

なお、グランドマスターキー付の場合はマスターキー可変はできませんので、ご注意ください。

マスターキー可変操作方法(全住戸に操作必要)



シリンダーの種類

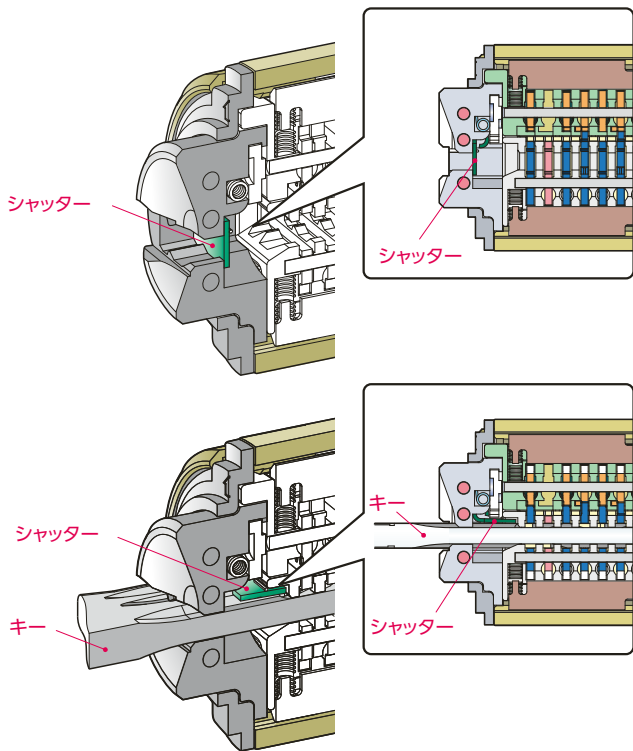
LBシリンダー（賃貸住宅用）（可変タンブラーシリンダー・リバーシブルキータイプ）

シリンダーの種類

■特長

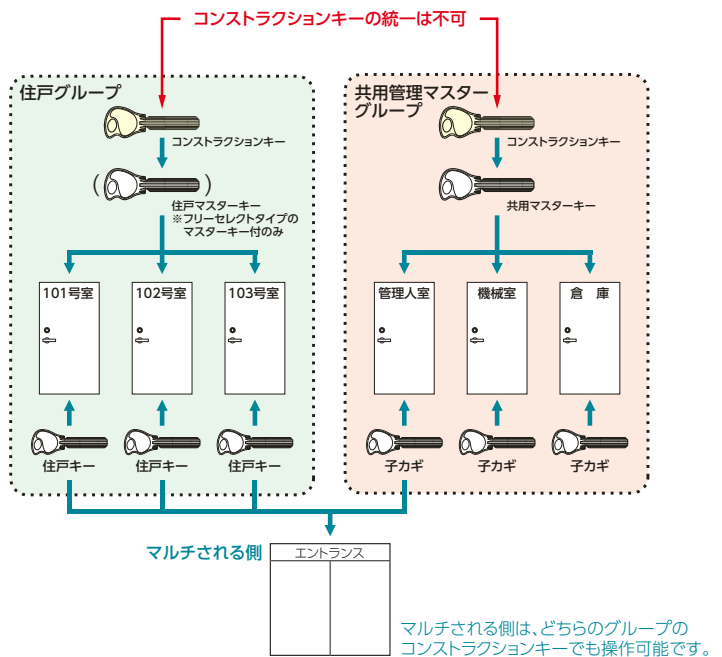
■内蔵式シャッターを標準設定

信頼性の高い片開き式シャッターを標準設定。塵埃の侵入を防止します。



■コンストラクションキー

住戸グループと共用管理マスターグループで、同一のコンストラクションキーで運用することはできません。住戸グループでマスターキーが必要な場合は、フリーセレクトタイプのマスターキー付きをお選びください。



■シャットアウト機能も装備（フリーセレクトタイプのみ）

一時的に住戸キーを使用できなくすること（シャットアウト状態）ができます。^(※)

扉を開けず施錠状態を保持したままシャットアウトが可能です。

^(※) 全住戸対応用ニュートラルキーを挿入し、360度操作して抜くだけの簡単操作です。

■可能キーシステム

	賃貸マンション／アパート向け		
	フリーセレクトタイプ (マスターキー付き)	フリーセレクトタイプ (マスターキーなし)	ペアタイプ (マスターキーなし)
マスターキー可変システム ^(注1)	● (オプション)		
マスターキーシステム	●		
グランドマスターキーシステム ^(注2)	●		
マルチマスターキーシステム ^{(注3) (注4)}	●	●	●
逆マスターキーシステム ^{(注3) (注4)}	●	●	●
同一キーシステム	●	●	●
可変コンストラクションキーシステム	● (標準)	● (標準)	● (標準)

注1) グランドマスターキー付の場合はマスターキー可変はできませんので、ご注意ください。

注2) グランドマスターキーシステムの場合、傘下のMKグループごとに全住戸対応ニュートラルキーとセキュリティカードがセットされます。

注3) マルチされる側／逆マスターされる側のシリンダーは、可変機能はありません。また、可変機能付シリンダーと構造が異なるため、鍵穴位置が多少異なります。

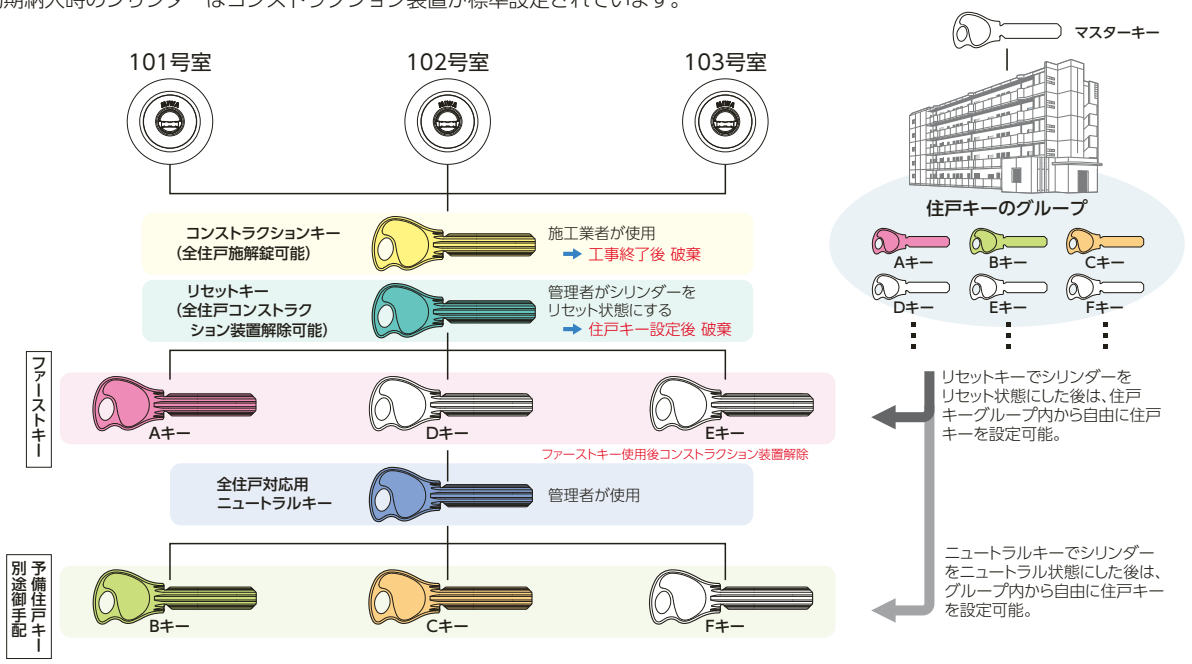
注4) キーチェンジをしても、マルチされる側／逆マスターされる側のシリンダーは、そのまま使用できます。

■運用方法

フリーセレクトタイプ (物件管理型マスターキー付き / 物件管理型マスターキーなし)

1本のニュートラルキーで全ての住戸キーのキーチェンジが可能なシステムです。

- ・住戸用のキーはマスターキー付きとマスターキーなしが選択できます。
 - ・住戸用のキーはその物件に割り当てられたキーのグループの中から自由に選ぶことができます。
 - ・マスターキー付きの場合、マスターキーを紛失しても1回に限り、シリンダー交換なしでキーチェンジできます。(オプション対応)
- 注) 初期納入時のシリンダーはコンストラクション装置が標準設定されています。



ペアタイプ (個別管理型マスターキーなしタイプ)

各住戸キーは、その住戸に対応したニュートラルキーでのみキーチェンジが可能なタイプです。住戸キーとニュートラルキーをペアで交換運用します。

- ・住戸用にはマスターキーはありません。(全住戸用のニュートラルキーもありません。)
 - ・住戸用のキーはその物件に割り当てられたキーのグループの中から自由に選ぶことができます。
- 注) 初期納入時のシリンダーはコンストラクション装置が標準設定されています。

